

「文と文をつなぐ言葉」 2

組

番

名前

★意味を考えてつなぎ言葉を使おう。

一. 次の問いに答えましょう。

◎ぼくは、一生けんめいに漢字の勉強をした。だから、八十五点だった。

このときの気持ちに合う顔はどちら？

顔を○でかこみましよう。



◎ぼくは、一生けんめいに漢字の勉強をした。しかし、八十五点だった。

このときの気持ちに合う顔はどちら？

顔を○でかこみましよう。



つなぎ言葉は内容と内容のつながり方をはっきりさせるだけでなく、話し手や書き手の気持ちを表すことがあります。

二. 次の文の「 」には、だからもしかしも入れることができます。次の場合はどちらのつなぎ言葉を入れたらよいでしょうか。だからしかしを選び○でかこみましよう。

①徒競走で一生けんめい走った。「 」 、二位だった。



だから
しかし



だから
しかし



②今日の給食はカレーライスだった。「 」 、残さずに食べた。



だから
しかし



だから
しかし



三. () に当てはまるつなぎ言葉を書き込みましよう。

①明日から家族旅行で沖縄へ旅行する。() ()、わくわくしている。

()、台風が近づいていて心配だ。



()、ほとんどしぶ柿で

②柿がたくさん実った。() ()そのまま食べることは難しい。

()、家族で、柿をとることにした。

